

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス古江教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 1日 ～ 令和7年 8月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	令和7年 8月 1日 ～ 令和7年 8月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていること	レッスン中に保護者の方へ声をかけ、いつでも相談できる環境を心掛けている	就学前の不安を軽減できるよう、より小学校や学級などについて情報収集する
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援	レッスン後のフィードバックの時間を大切に、取り組みの共有はもちろんのこと、保護者の思いやご意見を窺っている	職員個人個人がよりレベルアップできるよう、社内外の研修に参加し、事業所全体の底上げをする
3	活動プログラムが固定化されないよう工夫されていること	多数ある教材が毎月入れ替わるが、それだけでなく、そのこどもに合わせて取り組んでいる また小学校に向けての取り組みにも力を入れている	保護者のニーズにお応えできるよう、ペアレントトレーニングなどの時間も増やしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、兄弟同士の交流の場の提供	外部の交流会やイベントの情報共有はしているが、事業所内での実施が、人間的に難しい	人員の確保と職員のスキルアップが必要
2	避難訓練の周知	契約時に説明しているが、その後SNSでの発信で終わっている	発信したことを周知する
3	地域との交流	開所日は通常の個別療育を行う為、イベントを行っていない	閉所日に対応できるかなども含め、色々な観点から検討する必要がある